



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月26日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7477 URL <http://www.muraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 上中 良典 TEL 042-357-5610
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,039	1.0	△62	—	△59	—	△69	—
28年3月期第1四半期	2,019	△4.1	△52	—	0	△100.0	△6	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △76百万円 (ー%) 28年3月期第1四半期 △4百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△4.88	—
28年3月期第1四半期	△0.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	4,734	2,253	47.6	158.68
28年3月期	4,935	2,344	47.5	165.09

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 2,253百万円 28年3月期 2,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	1.00	—	1.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,511	12.0	△10	—	△7	—	△36	—	△2.58
通期	9,118	12.7	61	212.4	70	△33.0	10	△80.0	0.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社ミツワ商会、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	14,700,000株	28年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	500,924株	28年3月期	500,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	14,199,076株	28年3月期1Q	14,199,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費は未だ横ばい状態で、景気の冷え込みを懸念した政府の消費税率引き上げの先送りが消費者の購買心理に与える影響は計り知れないものとなりました。中東における地政学的リスクの高まりに加え、英国の欧州連合からの離脱決定はEU諸国の混乱を引き金に、わが国に急激な円高と大幅な株価の下落を招き、経済環境の不透明感は世界規模で蔓延し予断を許さない状況にあります。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界においては、石油元売との連携と特約店取引のより一層の強化に取り組んでまいりましたが、以前ほどのハイペースではないにしろ依然縮小傾向が続く市場環境に加え、前年に発表された2件の石油元売統合計画は確固たる形勢や方向性が見えづらく、当社を取り巻く業界も不安定な状況にあります。当社グループの中核であるカーケア関連商品販売につきましては、ムラキプロジェクトの第4弾にあたるMSP-Digitalの展開は想定ながら、少雨による天候不順が当会計期間での中心的商材であるワイパーブレードの販売の障壁となり、経費削減を図るも売上高減少に伴う収益減をカバーするに至りませんでした。

また、当期より当社グループに参入した株式会社ミツワ商会は新基幹システムの導入等もあり、本格展開までには時間を要したものの、地域的な戦略からは第2四半期以降にその伎倆を顕示するものと期待しております。

このような状況のもと、今後、当社は平成28年度の全社スローガンである「創造から行動へ」を掲げ、基本営業とムラキプロジェクトのそれぞれのステージでSSのみならずその先のエンドユーザーまでも見据え、考え、実行動を図ることで信用・信頼・期待を勝ち得るものと考え、足元の課題を厳然と履行してまいります。これらの行動は全て来期到来する当社設立60周年に向けての下地形成であり、やがて来る光の洪水の中に躍り出るその日に備えて今は深潭の中でのモチベーションの蓄積期間と捉えております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 2,039百万円（前年同期比 1.0%増）となりました。

収益面におきましては、営業損失 62百万円（前年同期は営業損失 52百万円）、経常損失 59百万円（前年同期は経常利益 5千円）、法人税等 10百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は 69百万円（前年同期は親会社に帰属する四半期純損失 6百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業については、上記の要因から、売上高は 1,984百万円（前年同期比 1.8%増）、セグメント損失は 61百万円（前年同期はセグメント損失 52百万円）となりました。「その他」の事業につきましては売上高は 67百万円（前年同期比 41.2%減）となりセグメント損失は 1,010千円（前年同期のセグメント損失 981千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は 3,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ 400百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 400百万円、商品及び製品が 58百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は 1,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ 200百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が 80百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は 4,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ 200百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は 1,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ 146百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 155百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金が 23百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は 1,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ 37百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債の増加 9百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は 2,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ 109百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ 91百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.6%（前連結会計年度末は47.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日付「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年4月1日に関連会社である株式会社ミツワ商会の株式を追加取得し、同社を当社の完全子会社といたしました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益にあたる影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,879,628	1,479,628
受取手形及び売掛金	1,014,423	1,106,767
商品及び製品	850,357	792,344
繰延税金資産	4,935	4,951
その他	119,187	84,207
貸倒引当金	△817	△631
流動資産合計	3,867,713	3,467,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	770,790	855,241
減価償却累計額	△695,476	△772,092
建物及び構築物(純額)	75,314	83,149
機械装置及び運搬具	16,760	19,139
減価償却累計額	△14,535	△16,924
機械装置及び運搬具(純額)	2,225	2,215
土地	438,325	518,941
リース資産	3,326	3,326
減価償却累計額	△1,718	△1,885
リース資産(純額)	1,607	1,441
その他	198,477	211,624
減価償却累計額	△169,546	△175,268
その他(純額)	28,930	36,356
有形固定資産合計	546,403	642,104
無形固定資産		
のれん	—	82,200
その他	70,877	69,443
無形固定資産合計	70,877	151,643
投資その他の資産		
投資有価証券	57,894	119,948
関係会社株式	39,595	—
差入保証金	332,597	330,048
繰延税金資産	—	1,044
その他	30,975	33,838
貸倒引当金	△11,002	△11,054
投資その他の資産合計	450,059	473,824
固定資産合計	1,067,340	1,267,572
資産合計	4,935,054	4,734,838

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,007,306	852,016
1年内返済予定の長期借入金	473,698	450,026
リース債務	714	720
未払法人税等	39,305	14,277
賞与引当金	7,422	7,484
その他	97,600	155,133
流動負債合計	1,626,047	1,479,657
固定負債		
長期借入金	627,972	630,728
リース債務	1,053	871
役員退職慰労引当金	42,643	48,467
退職給付に係る負債	282,420	291,745
繰延税金負債	256	21,628
その他	10,479	8,609
固定負債合計	964,825	1,002,050
負債合計	2,590,873	2,481,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	388,966	305,440
自己株式	△47,442	△47,442
株主資本合計	2,340,829	2,257,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,352	△4,172
その他の包括利益累計額合計	3,352	△4,172
純資産合計	2,344,181	2,253,130
負債純資産合計	4,935,054	4,734,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,019,108	2,039,221
売上原価	1,514,759	1,535,171
売上総利益	504,348	504,049
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	262,549	270,984
賞与引当金繰入額	3,732	5,508
役員退職慰労引当金繰入額	2,632	5,824
貸倒引当金繰入額	169	—
その他	287,566	284,239
販売費及び一般管理費合計	556,650	566,557
営業損失(△)	△52,301	△62,507
営業外収益		
受取利息	582	542
仕入割引	5,803	3,053
貸倒引当金戻入額	—	824
保険解約返戻金	46,693	—
その他	3,008	1,785
営業外収益合計	56,087	6,204
営業外費用		
支払利息	2,153	2,299
手形売却損	379	260
貸倒引当金繰入額	56	—
その他	1,190	404
営業外費用合計	3,780	2,964
経常利益又は経常損失(△)	5	△59,267
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5	△59,267
法人税、住民税及び事業税	12,141	9,879
法人税等調整額	△5,402	179
法人税等合計	6,739	10,058
四半期純損失(△)	△6,733	△69,326
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,733	△69,326

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△6,733	△69,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,185	△7,525
その他の包括利益合計	2,185	△7,525
四半期包括利益	△4,548	△76,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,548	△76,851
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,949,050	70,058	2,019,108	—	2,019,108
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	45,644	45,666	(45,666)	—
計	1,949,072	115,702	2,064,774	(45,666)	2,019,108
セグメント損失(△)	△52,439	△981	△53,421	1,119	△52,301

- (注) 1. セグメント損失(△)の調整額1,119千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 3. 「その他」の区分には、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	カーケア関連 商品販売	その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,984,147	55,073	—	2,039,221
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	12,910	(12,918)	—
計	1,984,155	67,984	(12,918)	2,039,221
セグメント損失(△)	△61,797	△1,010	300	△62,507

- (注) 1. セグメント損失(△)の調整額300千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 3. 前連結会計年度末より、近年激変する市場環境に対応するため事業内容を見直した結果、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を報告セグメントに含まれない「その他」としております。